

肌着の形や質感を触って確かめる参加者（写真左）と、赤ちゃん人形を使ったおむつ替え体験の様子（同右）



まちの話題

このページでは、市民の皆さんの活躍やまちの話題などを紹介しています。

身近な話題や、広報紙についての意見を、秘書広報課までお寄せください。

八幡市×ミキハウス×明治安田
プレママ・プレパパセミナー
in八幡市役所

新たな命 迎える準備

8月9日、市役所で子育ての基礎を学ぶ体験型講座「プレママ・プレパパセミナー in 八幡市役所」を開催。今秋から来年2月に出産を予定している妊婦とパートナーを対象に、39組が参加しました。

今年で2回目の開催となる本セミナーは、市とミキハウス、明治安田の連携企画。もうすぐママや

パパになる参加者が安心して赤ちゃんを迎えられるよう、様々な分野の専門家を招いて行われました。

ミキハウスによる育児体験プログラムでは、子育て経験豊富な講師からおむつや肌着を選ぶ基準、替え方、沐浴のしかたを学んだ後、約3kgある赤ちゃん人形を使って実践。おむつや肌着の形や

生地の質感を確かめながら取り組みました。また、市からは運動と交流をセットにした教室「MOM UP PARK by 健幸スタジオ」の紹介や「ママの健康」をテーマにした運動体験、明治安田からは、出産や育児に必要なお金のセミナーも行われました。

市内在住の^{まえだ ゆい}前田結香さん(27)は「実際に体験することで具体的に学ぶことが出来てよかったです」と話していました。



「健幸スタジオ」運動講師による運動体験の様子
ミキハウス講師による実演の様子



日独の混合チームで大縄跳びに挑戦（8月9日）

独スポーツ少年団迎え交流

8月8～12日、15～18歳のドイツのスポーツ少年団5人が八幡市を訪れ、八幡市スポーツ少年団と交流しました。

この事業は、さまざまな体験や交流を通じて、両国の友好と親善を深め、青少年スポーツの発展に寄与することを目的に実施しています。本市では平成30年以来、7年ぶりにドイツのスポーツ少年団を受け入れました。

期間中は、八幡市でホームステイしながら市内の少年団と日本の伝統文化・スポーツを体験。美濃

山小学校体育館では、和太鼓演奏をはじめ、剣道、空手の演武を見学後に交流体験。さらに、日独の混合チームで大縄跳びにも挑戦し、交流を深めました。

さらに、松花堂庭園で茶道体験のほか、石清水八幡宮の観光などを通じて、日本の文化の見識を深める機会となりました。

ドイツスポーツ少年団のリーダーのダネ・ヨシュアさん(18)は「知らなかったスポーツをたくさん知ることができて楽しかった」と話していました。

自分だけの作品できた！

親子で作る編み物&モールドール教室

8月5日に山柴公民館で夏休み親子講座「親子で作る編み物&モールドール教室」が行われ、参加した22人が手芸の魅力を体験しました。

同教室は「あみぐるみサークル」を指導するハンドメイド作家の杉本佐矢香さんが講師を務め、かぎ針で編むワッペンと、モールドールの作り方を紹介しました。

まず、ワッペンづくりでは、くまやパンダなどのモチーフを選び、かぎ針で編んでいきます。リボンや眉毛を付けるなどオリジナリティあふれる工夫もみられました。完成したワッペンを布製のトートバッグに貼り付けたり、オリジナル作品の完成です。

次は、細い針金が入ったふわふわの手芸用モールドールを使ったモールドール



かぎ針編みのワッペンを作る参加者の様子

ドール作りに挑戦。指でねじるだけで簡単に作れるのが特徴で、手のひらサイズのぬいぐるみを完成させると、親子や友達同士で作品を見せ合ったり、できあがりをおしそうに見つめたりしていました。

川口蓮太郎くん(11)は、「できあがった時の達成感があってよかった」と話していました。

今月のこの人

クラシック音楽の殿堂
カーネギーホールでも演奏

新境地に挑むピアニスト



相愛中学、高校音楽科を経て、相愛大学音楽学部音楽学科ピアノ専攻を首席で卒業。令和7年7月のウィーン国際ピアノコンクール3位入賞など、数々のコンクールで受賞。市内在住。

橋本幸枝さん

「練習や経験を積むにつれて、もっとクラシックが好きになりました」と、あふれんばかりの笑顔で話すのは、ピアニストの橋本幸枝さん。

ピアニストの田尻洋一さんに師事し、研さんを重ねている橋本さんは、練習で作曲家の曲に対する思いや背景、精神性に思いを巡らすことに注力しています。ベートーヴェンやモーツ

ァルトなどの作曲家別全曲シリーズ演奏会を開くなど「どの曲も世界観が素晴らしく、いつも感動しながら練習しています」と、新たな境地に挑戦しています。

一方で「ピアニストとして長く活動したい」とコンクールに応募したり、自ら演奏場所を探してコンサートを開いたり、地道な活動を続けてきました。

そんな努力が実を結び、昨年12月にはクラシックの殿堂ニューヨーク・カーネギーホールに招待。「皆さんからたくさん声援を受け、とても感動しました」

来年1月には生涯学習センターで20回目となるソロリサイタルを予定しています。「皆さんと曲に込められた思いを共有しながら演奏したい。必ずクラシックを好きになってもらえると思うので、ぜひお越しください」と話しています。